

令和6年度 測量士試験 午前 問題と解答 No11 (水準測量)

<R06-No11 : 水準測量 : 問題>

次のa～eの文は、公共測量におけるGNSS測量機による水準測量（以下「GNSS水準測量」という。）について述べたものである。明らかに間違っているものだけの組合せはどれか。次の1～5の中から選べ。

- a. 標高を定める測量であるため、GNSS水準測量では、PCV補正を行わない。
- b. GNSS水準測量では、国土地理院が提供するジオイド・モデルを用いることにより、既知点からの距離が6～40 kmの範囲において3級水準点を設置できる。
- c. GNSS水準測量で使用できる既知点の種類は、一～二等水準点、電子基準点（標高区分:水準測量による）及び1～2級水準点である。
- d. GNSS水準測量では、スタティック法又はネットワーク型RTK法により観測を行う。
- e. 大気中に含まれる水蒸気などによって電波の伝搬遅延量が増加し、高さ方向の精度に影響することから、寒冷前線や温暖前線が通過しているときは、原則として観測を行わない。

- 1. a, c
- 2. a, d
- 3. b, c
- 4. b, e
- 5. d, e